

【様式2】

学校関係者評価書

学校名 武雄市立山内西小学校

1 学校関係者評価実施状況

- (1) 学校関係者評価実施日 令和7年2月25日(火)
- (2) 資料(評価の参考とした資料)
アンケート結果(保護者・児童・教職員)及び教職員による学校評価

2 評価

(1) 学校運営について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・適切である。
- ・目標値に対する評価度がはっきりしていて評価しやすい。
- ・評価度を95%等と設定し、次の目標を上げていくことも必要。
- ・継続的に見て年々目標値を上げていく方向で考えてほしい。
- ・一定期間は同一目標で行い、傾向を見て達成度を考えていく。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・適切である。
- ・意欲的に取り組まれていると思う。
- ・わかりやすい言葉でのめあてがあつて、自己評価しやすかったと思う。
- ・「A」判定は新たな目標を設定し、レベルアップをお願いしたい。
- ・自己評価「B」は問題点を明確にし、なぜ達成できなかったのか、どうすれば達成するのかを明文化し、共通理解が必要だと思う。

③改善方策の適切さ

- ・西小の取組は素晴らしい。これからもよい伝統を引き継いでほしい。
- ・教職員の働き方の改善をしていく。
- ・改善点が具体的だった。

(2) 教育活動について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・適当である
- ・経年変化と特徴の分析が必要である。
- ・目標値を高くするのはよいのだが、教職員がきつくならないようにしたほうがよい。
- ・教職員が児童の実態に応じて具体的な目標を定めていることに感謝する。
- ・教職員の児童を見る目、理解する目の確かさを感じた。更なる向上を願う。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・適当である。
- ・目標値と達成数値がはっきりしているので95%以上(90%~95%)は達成「A」とみなしてよいと思う。

③改善方策の適切さ

- ・適当である
- ・ある一定年度は継続して取り組み、経過を見ていくことでよい。
- ・全体指導と個別指導の両輪で結果がよいことを期待する。

3 その他学校に対する意見や提言

- ・数値的には100%目指してほしい。
- ・保護者、学校、地域の関係を今後も続け、よりよい学校運営、教育に努めてほしい。
- ・山内町の歴史の意味合いの上でも、「校章」についての意味を教職員も知っていてほしい。